

草の根活動 交流NEWS

第679号

2020年 6月2日
会員数 158万1278人

消費税をなくす全国の会
〒114-0023
東京都北区滝野川3-3-1-201
電話03-3940-0401

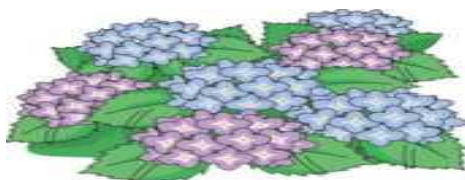
新コロナ禍で暮らし、営業・暮らし立ち行かない、今すぐ5%に減税を！

新型コロナウイルス対策による緊急事態宣言が解除されましたが、国による助成金や給付金の支給の遅れで、困窮する家庭や事業者には今だに支援が届いていません。コロナ禍で、補償や経済的支援をせず、思いつきの政策や自分の身の安全に汲々とする安倍首相の姿がハッキリしました。国民の安全や暮らしを支える政権への転換と、今すぐ消費税5%減税を求めます。



経済対策として、今こそ5%に減税を 5月25日 富山の会

新型コロナウイルス感染拡大のなか、「消費税10%撤回、5%に戻せ」「消費税は5%に」などの横断幕や看板を掲げた3台の宣伝カーで、富山市内各所を回って訴えました。宣伝カーに注目し、手を振ってこたえる姿がありました。



パンフ普及活動も

5月24日 京都の会

JR二条駅近くの生協前で5人の参加で宣伝行動。京都が宣言解除したといっても、まだまだ人通りは少なく、閉店した店舗も見られます。机の上に消毒液も置くなど工夫しました。「消費税5%に戻せ」署名も今の情勢に合わせたオリジナル用紙で取りくみました。「仕事の発注は3か月止まっている。もう限界」「廃業の話ばかりや」などの悲痛な声が聞かれました。消費税パンフ普及に6団体の事務所を訪問しました。

新しいパンフレット

1部 100円 どうぞご活用下さい

10%になってから、ずっと生活苦しい 5月25日 福島県の会

JR福島駅前前で4団体から5人が参加し、コロナ感染予防のためノボリと横断幕を掲げてスタンディング宣伝。1人から署名。70代の女性は「年金は少ないし、医療費も大変。10%になってから、ずっと生活が苦しい。コロナがきて、この先どうなるか不安でいっぱい」と話していました。



「10%増税後の生活実態アンケート」 回答の9割が消費税「廃止」「減税」

全国の会が各地の「なくす会」と協力してとりくんだアンケートに、3千人を超える回答が寄せられ、集計結果を「ノー消費税」6月号に発表。

「消費税が10%になり負担が増えた」が85%。「現金で購入し、ポイント還元は利用していない」が65%。「10%になり、暮らしの工夫をしている」が82%等々。一言欄には「消費税10%では生きていけない」「昨秋の台風被害で車や電化製品を買い替え、10%で出費が大変」「衣類や家具はできるだけ買わない」などの声が多数寄せられています。

新型コロナウイルス禍で暮らし・営業の救済が待ったなし。今すぐ5%に減税を！